

Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 448

2025年12月1日発行／みやぎ憲法九条の会

仙台市青葉区柏木1丁目2-45 フォレスト仙台5F

TEL : 022-728-8812 FAX. : 022-276-5160

<http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/>

mail:info@9jou.jp



[被爆100年までに核廃絶を！～被爆80年の今年を出発点に～]

11月2日（日） 650名参加

東京エレクトロンホール宮城 大ホール(宮城県民会館)

「9条は平和への道しるべ—憲法9条を守り生かす宮城のつどい」を開催し、650名が参加しました。第1部では「宮城のうたごえ」の皆さんによる平和の合唱、木村緋紗子さん（日本被団協代表理事・核兵器廃絶ネットみやぎ代表）の「ノーベル平和賞までのあゆみとこれから」と挨拶を述べられ、平和七夕に45年間参加してきた尚絅学院中高宗教部が「仙台平和七夕50周年」を振り返った。第2部では秋葉忠利氏（前広島市長・原水禁顧問）が「被爆100年までに核廃絶を！—被爆80年の今年を出発点に—」と講演された。



レートークで振り

秋葉さんの講演映像はこちらからアクセスできます。

<https://youtu.be/dwt9Eom63N4>

[参加者アンケートから読み取れること]

宮城のつどい全体の感想は85%の参加者が良かったと評価しており、第1部は88%、第2部の秋葉さんの講演は92.4%の方が良かったと評価している。また、アンケートでは、初めての参加が22.8%、4回以上の参加が54.4%で、さらに、次回開催の知らせを希望する人が51名(32.5%)と比率的には多くの方の期待を感じる。

<参加者の意見・感想>

- * 志を同じくした国や市民、色々な組織が協力して運動し続けることが大切だと学べた。
「期限付きの目標は、目標だが、ない目標は夢に過ぎない」という言葉に感動した（10代）
- * 「希望の種」この苦しい状況だからこそ高い目標を持ち前向きに生きていく事。核兵器廃絶！！過ちを繰り返してはいけない（50代）
- * 最高！めちゃ新しいことも知り勉強になり思っていたことをみんな言ってくれました。ありがとうございました。前向きになりこれからの方針性が見えました。（60代）
- * 戦争の犠牲者は国民、日本の政府は敗戦後も責任を取らなかった。戦争はやってはいけない、やはり核は使われてはならない（60代）
- * 宮城のうたごえのみなさんの合唱にすごく励まされ涙がでました。みなさんが楽しそうに歌ってる姿がとても良かったです（20代）
- * あらためて憲法9条を守り声を大にして核兵器をなくそうと伝えたい（40代）
- *若い世代も関心をもって活動している姿はこれからも継続して欲しいものです（50代）
- *毎回自分のライフワークの一つとして参加しています。そしてもっと若い方に参加してほしいです。次回はもっとまわりの方へ伝え、誰かと一緒に参加します。このような会がずっと続くよう祈っています。（なくなる事がずっとずっといいのですが…）
- * 戦争の音が聞こえそうで（集会に）初めて来てみました。戦後生まれで実際には知らないことが多いのですが、今、世界のどこかで戦が起こっていることが残念です（70代）
- * 参加してよかったです。絶望にひたらずボタもちを探そう。一人でも動けます（70代）
- * 第一部のコーラス、木村緋沙子さん、平和七夕、尚絅学院の高校生、いづれも感動、感動。あらためて平和への思いを強くしました（70代）
- * 法制局長が、9条は死んでしまったと語っていました。憲法を遵守すべき国会が9条をないがしろにしている事実をマスクも研究者も言及しないこの国の現状、今こそ9条を国會議員にいちから学んでと思われる日々です。
- * 2025年の案内ありがとうございました。もう少し早く届いたら友人、知人にも声掛けできたのに少し残念に思いました。（10月30日に届きました）（70代）
- * 一人でも活動しようとよびかけられ --> 今後の努力目標としよう。余生の社会貢献は日ごろからのボランティア精神で生活している。（80代）



* 秋葉さんの話に凡人の私には思い及ばないことを深く考えさせられる良いお話をしました。
「核の先制不使用」宣言の有効性⇒全く新しいことを学ばせていただきました。



「大軍拡反対請願全国署名 9/29 現在)

宮城県内九条の会連絡会 : 297 筆 他団体 : 965 筆

県民運動推進連絡会みやぎ集約 : 1262 筆

* 4月1日より全国市民アクションの署名用紙が「税金はくらしの充実に 戦争準備の軍拡は中止して、憲法、平和、いのち、くらしを守る政治への転換を求める請願署名(略称大軍拡反対請願署名)」に変わったので新たにカウントしています。

* 「署名ハガキ付チラシ」を宮城県内九条の会連絡会に参加されている地域九条の会には必要枚数をお送りしますので、みやぎ憲法九条の会事務局までお申し込みください。

* 署名は県名よりしっかり書きましょう。「同上」「〃」は不可です。国会提出時チェックするためには大変な苦労となっています。よろしくお願ひいたします。



宮城県内九条の会連絡会の火曜日街頭宣伝

場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。 時間：12時から13時まで。

実施日：12月2日、9日、23日

12月の「19日行動」

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制を強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている取り組みです。

- 仙台市：12月19日(金) 12:00～13:00 場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前
- 石巻市：12月19日(金) 15:00～16:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点
- 涌谷町：12月19日(金) 13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点
- 小牛田：12月19日(金) 13:00～13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：12月19日(金) 11:00～11:30 場所：クボ店前
- 名取市：12月19日(金) 13:00～13:30 場所：名取駅西口前
- 岩沼市：12月19日(金) 16:00～16:45 場所：岩沼駅 東・西口
- 仙南九条の会：12月19日(金) 11:00～11:30 場所：大河原町生協前（小雨決行）

12月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・午後1時キッカリに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- ・名取市：ヨークベニマル愛島店前交差点付近
- ・涌谷町：涌谷公民館前交差点
- ・宮城野原九条の会：坂下交差点
- ・小牛田：国道108号山の神神社前交差点

地域の九条の会の定例行動(スタンディング)

- ・宮城野原九条の会 23 日行動：12月23日(木)13:00～13:30 坂下交差点
- ・加茂九条の会：場所は泉区、北環状線と仙台・大衡線の交差点、ショッピングセンター「ブランチ仙台」前、のぼり旗が目印。
毎週月・水・金曜日の7:30～8:15の週3回 “ウクライナに平和を・ガザに平和を”
訴えてスタンディング
毎週(水)13:30～14:00 “大軍拡・大増税NO！”でスタンディング

【11月に行われた各地の活動について】

2025年第2回 片平九条の会 秋のつどい (2025年11月9日(日))

平和憲法に尽力された鈴木義男氏の思想について

11月9日、片平九条の会は秋のつどいを開催し41名が参加した。テーマは「平和憲法をつくった男 立役者 鈴木義男に迫る」で、講師は仁昌寺正一氏（東北学院大学名誉教授）と門下生・雲然祥子氏（岩手県立大学短大専任講師）。開会にあたって、共同代表の小野寺弁護士は冒頭で、身近に出没する”熊に注意”の言葉に、歴代自民政権の中でも最悪と思われる高市政権の誕生からどんな挨拶になるかと身構えていたが、想定外の言葉で会場には納得した感があった。

○幼少期から学生時代の思想形成

鈴木義男の思想形成には、父や恩師のキリスト教に基づく人道主義教育、働きながら学んだ苦学経験、そして東京帝大で大正デモクラシーの先駆者、吉野作造に師事したことが大きな影響を与えた。第一次世界大戦後に欧州へ留学し、戦禍を目の当たりにするとともに各国の憲法思想を研究。特に世界で最も進歩的とされたワイマール憲法から、個人主義、国民主権、男女平等、民主主義の重要性を学んだことが決定的だった。

○大学教授から弁護士を経て政治家に

帰国後、東北帝大教授となつたが、軍国主義が進む中で大学にも弾圧があり、軍事教育政策を批判したため辞職を余儀なくされた。権威ある地位にあっても個々人は国家権力に抗しがたい現実を痛感したと思われる。その後は高校時代に磨いた弁論力と文章力を生かし弁護士に転じ、治安維持法で検挙された河上肇、宮本百合子、朝鮮独立運動関

係者など多数の弁護に携わった。こうした経験を通じ、明治憲法の欠陥と民主的改正を痛感し改革のため政治家への道に進んだ。

戦後の帝国憲法改正委員会「小委員会」に加わり、自身の体験や弁護士活動のなかで、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を重視した条文の作成・挿入に尽力した。発言によって挿入が決定したのは、例えば、6条2項、9条1項、25条、17条、40条だった。憲法はアメリカから押し付けられたというのは全くデタラメである。

平和憲法は鈴木義男の人生経験の集大成の感があります。どの体験が欠けてもこの条文、内容にはならなかつたでしょう。（片平九条の会 田中 鳩子）

【各地で発行されているニュースなどの紹介】

みやぎ県内の九条の会ではニュースを発行して賛同の会員へ配り、繋がりをつくるところがあります。全部ではないですが表紙のコピーで紹介します。

入手を希望する方は、メールのみですが事務局（info@9jou.jp）へお願いします。

【県内で行われる活動のお知らせ】

2025 年度高校生公開授業
被爆 80 年 ノーベル平和賞受賞
田中熙日さんが
杜の都にやってくる！
授業テーマ；平和という贈りもの
～いま、高校生に伝えたい～

日時：2025 年 12 月 6 日（土）13:30～16:30

場所：フォレスト仙台 2F 第 7 会議室（仙台市青葉区柏木 1-2-45）

* 受講高校生募集 40 名（先着順）

* なお教職員、保護者、一般市民の方も

先着 50 名ほどまで参観可能です（申し込み必要）

【参加申し込み】（参加費無料）

下記、主催までご連絡ください。

【主催】一財・宮城県教育会館 みやぎ教育文化研究センター

※申し込み・問い合わせは下記まで

tel 022-301-2403 fax 022-290-4026

e-Mail ; mkbkc@forestsendai.jp

【後援） 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会

「東京裁判」「戦雲」に続く第3弾！

もうひとつの 12月8日

外国人英語教師と北大生を襲った冤罪事件

開戦の日の朝、突然の悲劇が、、、。

映画「レーン・宮沢事件」上映とお話し

「レーン・宮沢事件」は、太平洋戦争開戦の日におきた冤罪事件です。北海道帝国大学（現北海道大学）の学生とアメリカ人英語教師夫婦がスパイ容疑で逮捕・投獄されたもので、戦時下の国家権力による人権侵害の典型例として知られています。

治安維持法を彷彿とさせる「スパイ防止法」制定の動きにも準備しておきたい。

日 時：12月8日（月）午後2時30分～4時

場 所：大和中倉町内会館 若林区中倉 3-18-40

お話し：横田有史さん（治安維持法犠牲者国賠要求同盟宮城県本部）

「治安維持法その歴史と教訓」

* 入場は無料です *

主催：若林区平和映画を上映する会 (090-3349-6849 加藤／松尾)

桜井智恵子さん 講演

追いつめられる先生と子どもたち

～能力主義を超えて～

日 時：2025年12月13日（土）13:45～16:00

場 所：フォレスト仙台 2F 第7会議室

参加費 500円

※仙台の子どもと教育をともに考える市民の会総会（13:00～13:30）

「置かれている状況のしんどさをちゃんと感じたり、微妙だなと思ったら拒否する。あるいはごまかす、やめる、ずらす、なんていうのは、人間としてとてもポジティブな生き方です。」一物質的にも経済的にも豊かになったはずなのに、人々が何とも言えない息苦しさを感じながら生きているのはなぜだろう？他の人よりがんばるって、そんなに大切？

（近著：「ポンコツでいこう」より）

【主催】仙台の子どもと教育をともに考える市民の会 TEL 022-271-8290

仙台市教職員組合

「“2026年”を9条の年に」

～高市政権の危険・政権を支持する「世論」の危険を考える～

2025年10月21日、日本初の女性首相の高市早苗政権が発足しました。

高市首相は、自他ともに認める安倍晋三氏の後継者で、国会の所信表明演説で安保3文書の改定・明文改憲を主張し、日米首脳会談ではトランプ大統領に軍事費拡大を約束し、11月7日国会では台湾問題が存立危機事態になる=日本が中国と戦争することを明言し、非核三原則の見直しも公言するなど、戦後最も危険な内閣であることが明らかになっています。

このような状況の中でも、11月15、16日に行われた世論調査で国民の高市政権支持率は69%という高い水準が続いています。

今回は、「桜を見る会を追及する法律家の会」で安倍晋三氏を徹底追及した弁護士の小野寺義象さんを講師にお招きし、高市政権とそれを支持する「世論」について考えます。おさそいあわせの上、お気軽にご参加ください。

■講師：小野寺 義象さん（弁護士、宮城憲法会議・幹事長）

■日時：12月14日（日）13:30～15:30

■会場：泉区加茂市民センター

□主催：9条を守る加茂の会

□共催：泉病院友の会・平和の委員会、9条を守り生かすいづみ中山の会

□連絡先：油谷 重雄、022-378-5765

戦争を語り継ぐ上映会（12月）例会

「太平洋戦争1945 終戦」

～ 忘れられた悲しみ 市民が残した日記と手記が語る戦争の真実 ～

市民がつづった日記や当時の手記から、太平洋戦争の3年8ヶ月を1年ごとに追体験していくシリーズの最終回。

戦場、空襲など戦禍において愛する人を奪われた人々は、「敗戦」をどう受け止めたのか。首都が焼け、全国に空襲が拡がり、沖縄が占領され、原爆が投下され、多くの民間人が直接攻撃にさらされた1945年。

空襲でばらばらになった下町の大家族、沖縄の地上戦に巻き込まれた市民、そして広島の父娘を悲劇が襲う。さらに、フィリピンでも激しい戦闘が起こり、日本人と現地市民が巻き込まれ、戦争が終わっても満州・朝鮮からの逃避行が続く。人々は、何を記し、どう生きたのか。戦争の残酷さと苦悩が言葉に刻まれ、戦争が市民に何をもたらしたのかを見つめる。（2025年放送）

■日時：12月17日（水）10：00～
■会場：泉区加茂市民センターア会議室
□主催：戦争を語り継ぐ会（野原：022-378-0872）

みやぎ農協人九条の会結成15周年記念
学習講演会
「令和の米騒動」とこれからの食料・農業政策（仮題）
講師；冬木 勝仁 氏（東北大学大学院農学研究科 教授）

■日時：2025年12月20日（土）午後1時30分～3時30分
■場所：フォレスト仙台ビル2階 第5・6会議室
主催；みやぎ農協人九条の会（連絡先 022-728-8812）

編集後記

インフルエンザが猛威を振るってきました。うがい、食事をキチンと、そして睡眠は重要です。さて、どうでしょうか？

今回、「9条のつどい」アンケートの様々な意見、感想では、いろいろな角度から気づかされることがあったようです。希望や励みへ繋がればと思い編集しました。

（事務局；阿部 比佐久）